

・主催者挨拶

第2回世界自然遺産会議実行委員会会長 青森県知事 三村 申吾

第2回世界自然遺産会議の閉会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

アジア太平洋地域16か国の24自治体3政府機関とユネスコ世界遺産センターなど、国内外から多数のご参加を得て、3日間の日程で開催されました会議も盛会のうちに、本日の閉会式を迎えることができました。本当にありがとうございました。

会議の成功に向け、御理解、御支援をいただきました青森県民の皆様をはじめ、数多くの関係者の皆様方に、主催者を代表して、心からお礼を申し上げます。

さて、今回の会議では、世界自然遺産の保全と世界自然遺産を活かした地域づくりの在り方について、参加自治体等から様々な御意見・御提言をいただくとともに、先ほど御紹介いたしました白神山地サミット宣言が採択されました。

人類共通の世界自然遺産を、次世代の子どもたちに引き継いでいくためには、国際社会や各国政府間において様々な情報を共有し合うとともに、それぞれの地域社会の理解と協力が不可欠であります。

今回、アジア太平洋地域の皆様方がここ青森に集い、各々の取組みや課題を示し、議論を重ねたことは、参加自治体間の具体的な情報の共有化となり、循環と共生の地域づくりにおける緊密な協力関係の構築が図られたことになると思います。

青森県では、この会議を契機といたしまして、白神山地をはじめとする青森県の優れた自然を、未来を担う子どもたちに確実に引き継いでいくとともに、豊かな自然を活かした循環と共生の地域づくりを推進していきたいと考えております。

この度の世界自然遺産会議に御参加いただきました多くの方々に、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げますとともに、次回の中華人民共和国四川省での会議の成功を祈念いたしまして、閉会の御挨拶といたします。